

第3回会議（2020年1月23日；グランドプリンスホテル広島2F 瀬戸内1）
議事録

■出席者（敬称略、五十音順）

- ・ 委員長：上野秀樹
- ・ 委員：味岡洋一、池 秀之、石原聡一郎（欠席）、伊藤雅昭（欠席）、猪股雅史（欠席）、浦岡俊夫、大植雅之、岡島正純、金光幸秀、河内 洋（欠席）、絹笠祐介（欠席）、九嶋亮治、幸田圭史（欠席）、小林宏寿、斎藤 豊（代 高井博之）、島田安博、関根茂樹、田中信治、村田幸平（欠席）、八尾隆史、山口研成（欠席）、山口茂樹、山田一隆、他オブザーバー5名
- ・ アドバイザー：固武健二郎（欠席）、富田尚裕（欠席）、橋口陽二郎（欠席）
- ・ 事務局：岡本耕一

■会議内容

1. 委員長挨拶

委員長より、2025年頃に刊行予定である規約第10版刊行までのロードマップが提示され、①規約第9版の問題点の拾い上げと改訂、②大腸癌研究会の各委員会およびプロジェクト研究成果の適切な組み込み、③次に改訂されるTNM第9版との整合性・国際化を図ることが改訂作業の重要な骨子となることが改めて説明された。

2. プロジェクト研究の成果として規約改訂に反映される内容の展望

(1) 直腸癌治療における側方郭清に関する前向き研究（金光委員）

3年間で予定登録840例を目標とし、その後の3年間の観察期間で側方郭清の臨床的妥当性を検討する探索的研究であり、主要評価項目は3年局所再発率、副次的評価項目は生存期間、有害事象発生率、機能障害発生率などであることが説明された。本研究により、①LD2とLD3での各評価項目の比較、②各Station別の局所再発率を考慮した側方リンパ節郭清の至適範囲の検討、③側方リンパ節転移の画像所見と病理所見を用いた側方リンパ節の陽性診断やカットオフ値の検討、④局所再発部位別のリスク因子や予後の検討を行う予定であること、⑤症例登録ペースは予定の半分程度であることが報告された。

★ 委員長より、規約9版で改訂されたLD分類の妥当性を評価して欲しいとの依頼があった。

(2) 病理委員会（味岡委員）

WHO分類第5版(2019)と整合させるため、鋸歯状病変の診断とカテゴリー分類、過形成結節の取り扱い、内分泌細胞腫瘍の分類について検討中であり、特に過形成結節についてはワーキンググループを立ち上げ、次期改訂に反映できるように活動中であること、内分泌細胞腫瘍に関しては、他の臓器の取り扱い規約との整合性を保つことの重要性が報告された。また、病理診断の均霑化に関して、脈管侵襲や簇出の判定に免疫染色の併用の有無を検討する方針であることが報告された。

★ 田中委員より、免疫染色を併用した場合の臨床的な利益に関する検討を予定しているか、また、その評価方法に関して診断精度向上のための対策について質問があり、味岡委員より、現在は診断精度向上のための定義やその方法を推奨するかの検討開始段階であることが説明された。

★ 委員長より、他臓器の取り扱い規約との整合はどのように行うのかという質問があり、味岡委員より、未定ではあるが連携を取って進める予定であることが説明された。

★ 大植委員より、癌と同様にNETに関しても脈管侵襲の診断率向上のための検討依頼があった。

★ 九嶋委員より、膵消化管神経内分泌腫瘍のガイドライン(2019)ではWHO分類と同様の分類を用いることが記載(p.43-44)されているため、本規約と整合させる必要性が指摘された。

(3) リンパ節委員会（池委員）

下部直腸癌における規約N分類の妥当性に関する検討の結果、StageⅢ下部直腸癌のN1(N3+)症例は比較的予後が良好であったため、規約N分類の新たな提言を行う予定であること、「脾弯曲部癌におけるリンパ節転移領域と頻度に関する多施設共同コホート試験」(SP study)が現在症例集積中であり、規約に222accとして副中結腸動脈領域のリンパ節を追記する意義に関して検討中であることが報告された。

★ 委員長より、N3の取り扱いを変えることでどの程度の利益が得られるかを示す必要性があること、規約が改訂される度にStageの変更が生じる不利益を考慮する必要性が指摘された。

3. 大腸癌研究会施設からの2つの質問「壁内神経侵襲の定義（Auerbach神経叢以外の侵襲所見をPnと判断するか）」「T4bの定義（後腹膜、腹壁等の浸潤を評価するか）」が紹介された。病理委員会での協議、TNM分類などでの扱いの確認を経て、今後規約に反映することとされた。

4. 第3回会議のまとめと今後の予定

委員長より、直接規約改訂に反映しない委員会からの発表は行わなかったが、規約に反映すべき内容がある場合は逐次提案するよう依頼があった。また、「規約第9版の問題点」に関しては、当面は委員会内で検討を進めること、近日中に委員より意見収集を行い、次回委員会にて情報共有したいとの説明があった。